

CASBEE®広島

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE 広島 2016年版

■使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)アパホテル<広島駅前スタジアム口>	階数	地上14F
建設地	広島県広島市南区 荒神町1-2-3-4	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	257 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	ホテル	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年8月 予定	評価の実施日	2023年3月28日
敷地面積	608 m ²	作成者	株式会社IAO竹田設計 大阪第五
建築面積	380.8m ²	確認日	
延床面積	3,962 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.7

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.2

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 2.9

3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア = 3.0

「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア = 3.3	スコア = 1.6	スコア = 3.2
設計の計画段階に配慮した事項 外皮性能を高くすることで空調設備の負荷を下げ、省エネを図った。/ 全熱交換機にナイトバージョン機能をつけているものを採用した。/ / 節水器具やリサイクル材の採用に加え、LGS工法とすることで、資源の再利用可能性に配慮した。/ リサイクル材を採る他、耐用年数の長い配管を採用した。	設計の計画段階に配慮した事項 特に無し。	設計の計画段階に配慮した事項 一部のダクトにステンレス鋼板を採用する他、空調・給排水配管に耐用年数の長い配管を採用し、耐用性に配慮した。/

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される